

## 申請者名

特定非営利活動法人(NPO法人)信州ソフトウェア協会

## 体制図

松本市(DX推進本部)  
○住民への周知、ニーズの把握

## 運営支援

松本市(教育委員会)  
○会場確保(公民館)  
○コロナ感染対策

## 実際運営グループ

信州ソフトウェア協会  
○運営管理、経理、広報  
○教材開発、印刷  
○講習会、相談会講師

松本シニアネットクラブ  
○講習会、相談会講師

障がい者パソコン研究会  
○参加者募集、アプリ検証

## 講習会等の実施計画

## 基本講座

	電源の入れ方等	電話のかけ方等	アプリ等	ネットの使い方等	メール等の使い方	地図アプリの使い方	SNSの使い方	オンライン会議	安心・安全
実施コマ数			2	2		2	2	2	2

## 応用講座

一般高齢者	マイナンバーカード	マイナポータル	マイナポイント	e-Tax	オンライン診療	地域オンライン行政
実施コマ数	1	1				2

障がい者	マイナンバーカード	障がい者用設定	専用アプリ	移動支援	e-Tax	地域オンライン行政
実施コマ数	2	1	2	1		

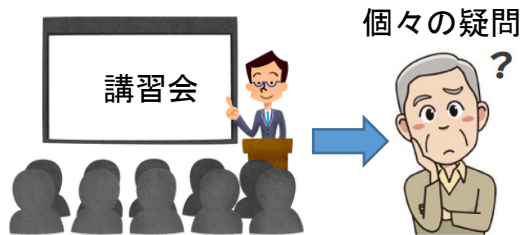
支援員数	アシスタント数	基本講座：実施コマ総数	応用講座：実施コマ総数	障がい者・実施コマ数
5	5	12	4	6

## 講師を確保・養成・管理

メイン講師の確保	10年以上の講師実績と幅広いICT知識を持つ人材を選任。	信州ソフトウェア協会より4名確保
補助講師の確保	松本シニアネットクラブでの講師経験者、障がい者パソコン研究会の勉強会で講師をつとめた者に講師セミナーを受講してもらう。	松本シニアネットクラブ、障がい者パソコン研究会より各2名ずつ確保
アシスタントの確保	必要に応じてシニアネットクラブやパソコン研究会のメンバー、また障がい者の移動補助などはボランティアグループに依頼する。	受講者数に応じて5名程度に依頼

## 相談会の実施イメージ

## 高齢者を対象とした相談会



講習会終了後に、個別相談会を実施する。なるべく記憶が鮮明なうちに相談することが大切。

## 障がい者を対象とした相談会

Step1  
障がいの種類や程度、本人の希望や趣向などヒアリングする。

Step2  
オススメのアプリや補助器具の紹介

Step3  
実際に利用してもらいニーズに沿ったものかを検証する。

Step4  
日常生活で活用してみる。必要に応じてStep2に戻る。

雑誌や新聞を読む



音声ナビ



視力支援



必要に応じて障がい者の自宅を会場にした相談会を実施する。

商品のラベルを読み上げる

